

## 特別企画：遊園地・テーマパーク経営企業の実態調査（2015年決算）

# 2015年の収入高合計、前年比微増

## ～USJ好調で東西明暗、インバウンドの取り込み課題～

### はじめに

もうすぐ夏休み。「コト消費」への意欲が高まる季節が始まる。今年は大型テーマパークのアニバーサリーイヤー。ユニバーサル・スタジオ・ジャパン（3月）と東京ディズニーシー（9月）が15周年となる。周年記念イベントの開催をはじめ、USJは期間限定で一部地域の子ども入場無料キャンペーンを始めるなど盛り上がりを見せている。

2015年の遊園地・テーマパークの入場者数は前年比3.9%増の8148万7000人となった（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」より）。加えて同年の訪日外客数は過去最高の1973万7400人（前年比47.1%増）を記録（日本政府観光局<JNTO>より）、訪日外国人客によるレジャー需要への期待も高まった。

帝国データバンクは、2016年6月末時点の企業概要データベース「COSMOS2」（146万社収録）および公開情報から、遊園地・テーマパーク経営企業のうち2013～2015年（1～12月期決算）の3期連続で収入高が判明した154社を抽出して分析した。前回調査は2015年7月。

- ◇ 「遊園地・テーマパーク経営企業」とは、原則として収入高のうち、遊園地・テーマパークおよび動物園・植物園・水族館経営による収入が最も大きい企業
- ◇ 業績は単体数値で推定値も含む。損益は当期純損益
- ◇ (株)ユー・エス・ジェイは、2016年4月に旧(株)ユー・エス・ジェイを合併しアジア・テーマパーク・インベストメント(株)から商号変更しており、分析の対象外とした

### 調査結果（要旨）

1. 2015年の154社の収入高合計は前年比0.6%増の約8134億5000万円。増収企業は73社で全体の約半数(47.4%)
2. 154社のうち2期連続で損益が判明した91社を見ると、2015年の黒字企業は76社で全体の8割超
3. 収入高規模別に見ると、2015年の「1～10億円未満」と「1億円未満」の社数の合計が全体の64.9%を占め、引き続き多数の中小規模企業が存在している
4. 地域別では、「東北」（前年比3.4%減）、「東京」（同1.8%減）、「関東（東京除く）」（同0.4%減）などが低調
5. 2015年収入高トップの(株)オリエンタルランドは前年比0.8%減、2位の(株)ユー・エス・ジェイは同44.5%増、東西で明暗分かれる

## 1. 収入高合計、0.6%の微増

2015年の154社の収入高合計は約8134億5000万円で、前年比0.6%の微増となった。

	収入高合計 (百万円)	前年比 増減率 (%)
2014年	808,664	9.4
2015年	813,450	0.6

一方、2015年に増収となった企業は154社中73社（構成比47.4%）となり、増収企業の割合は前年から4.5ポイント減少した。減収となった企業は40社（同26.0%）で、減収企業の割合は前年から0.7ポイント増加した。

	2014年		2015年	
	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)
増収	80	51.9	73	47.4
減収	39	25.3	40	26.0
横ばい	35	22.7	41	26.6
合計	154	100.0	154	100.0

## 2. 黒字企業が全体の8割超

154社のうち2期連続で損益が判明した91社を見ると、2015年の黒字企業は76社（構成比83.5%）で、前年から7社増加した。このうち2期連続の黒字企業は65社（同71.4%）となった。

損益比較	2014年		2015年	
	社数	構成比 (%)	社数	構成比 (%)
黒字	69	75.8	76	83.5
2期連続			65	71.4
赤字	22	24.2	15	16.5
2期連続			11	12.1
合計	91	100.0	91	100.0

※2期連続で損益が判明した91社が対象

他方、2015年の赤字企業は15社（構成比16.5%）にとどまった。

## 3. 10億円未満の企業が64.9%

収入高規模別に見ると、2015年の「1～10億円未満」と「1億円未満」の社数の合計は154社中100社で全体の64.9%を占め、引き続き多数の中小規模企業が存在していることがうかがえる。他方、増収を続けていた「500億円以上」の大規模企業は、2社中2社で減収となった。

	2014年							2015年						
	社数	増収	構成比 (%)	減収	構成比 (%)	横ばい	構成比 (%)	社数	増収	構成比 (%)	減収	構成比 (%)	横ばい	構成比 (%)
500億円以上	2	2	100.0	0	0.0	0	0.0	2	0	0.0	2	100.0	0	0.0
100～500億円未満	7	5	71.4	2	28.6	0	0.0	7	4	57.1	3	42.9	0	0.0
50～100億円未満	7	5	71.4	2	28.6	0	0.0	8	6	75.0	2	25.0	0	0.0
10～50億円未満	37	25	67.6	9	24.3	3	8.1	37	23	62.2	8	21.6	6	16.2
1～10億円未満	77	39	50.6	21	27.3	17	22.1	74	36	48.6	21	28.4	17	23.0
1億円未満	24	4	16.7	5	20.8	15	62.5	26	4	15.4	4	15.4	18	69.2
合計	154	80	51.9	39	25.3	35	22.7	154	73	47.4	40	26.0	41	26.6

## 4. 東北、関東地方が低調

地域別では、10地域中6地域が増収。伸び率トップは「中国」（前年比20.0%増）で、なかでもツネインシLR（株）（広島県）がグループ会社の運営施設を引き継いだことで大幅増収（同57.4%増）、それが「中国」全体の伸び率を牽引した。2ケタの伸び率になったのは同地域のみ。一方「東北」は前年比3.4%減、次いで「東京」が同1.8%減、「関東（東京除く）」が同0.4%減となり、東北、関東地方が低調。

収入高合計のトップは、（株）オリエンタルランドが全体の93.4%を占めている「関東（東京除く）」で約4276億4600万円。次いで「東京」が約1399億3200万円となり、上記2地域の収入高合計は約5675億7800万円と全地域の69.8%を占めた。

地域別	2014年 収入高合計 (百万円)	2015年 収入高合計 (百万円)	前年比 増減率(%)	社数			
				増収	減収	横ばい	2015年
北海道	17,353	18,086	4.2	10	7	0	3
東北	7,094	6,853	▲3.4	11	6	2	3
関東(東京除く)	429,519	427,646	▲0.4	24	9	6	9
東京	142,448	139,932	▲1.8	10	6	3	1
北陸	2,947	3,008	2.1	7	5	1	1
中部	99,733	106,540	6.8	23	11	10	2
近畿	35,099	34,603	▲1.4	18	11	3	4
中国	7,683	9,223	20.0	11	4	2	5
四国	7,158	7,358	2.8	10	4	1	5
九州	59,630	60,201	1.0	30	10	12	8
合計	808,664	813,450	0.6	154	73	40	41

### 2015年主要テーマパーク（地域別）

地域	商号 <テーマパーク名>	収入高 (百万円)	前年比 増減率(%)	地域	商号 <テーマパーク名>	収入高 (百万円)	前年比 増減率(%)
北海道	加森観光(株) <ルスツリゾート>	15,642	3.2	北陸・中部	長島観光開発(株) <ナガシマリゾート>	25,118	▲5.3
	(株)北海道マリナーパーク <登別マリナーパーク>	823	9.6		富士急行(株) <富士急ハイランド>	26,211	2.6
	(株)登別伊達時代村 <登別伊達時代村>	500	0.0	(株)モビリティランド <館内サーキット>	25,103	▲0.1	
	(公財)ふくしま海洋科学館 <アクアマリンふくしま>	1,900	0.0	近畿	(株)ユニ・エス・ジェイ ※1 <ユニバーサル・スタジオ・ジャパン>	138,577	44.5
(株)マリニピア ※2 <マリニピア松島水族館>	1,358	8.2	(株)アワーズ <アドベンチャーワールド>		7,243	6.3	
(公財)郡山市観光交流振興公社 <郡山カルチャーパーク>	645	▲31.7	泉陽興業(株) <よこはまコスモワールドほか>		6,882	6.0	
関東(東京除く)	(株)オリエンタルランド <東京ディズニーリゾート>	399,234	▲0.8	中国・四国	(株)レオマユニティ <NEWレオマワールド>	4,148	1.7
	西武鉄道(株) ※3 <西武園ゆうえんち、としまえん>	21,533	▲0.6		(株)ヒルゼン高原センター <ヒルゼン高原センター・ジョイフルパーク>	1,100	0.0
	(株)横浜八景島 <横浜・八景島シーパラダイスほか>	7,725	6.7		ツネインシLR(株) ※4 <みろくの里>	4,192	57.4
東京	(株)東京ドーム <東京ドームシティ>	59,061	▲0.3	九州	ハウステンボス(株) <ハウステンボス>	27,594	5.1
	(株)ナムコ <ナムコ・ナンジャタウン>	43,009	▲7.7		(一財)沖縄美ら島財団 <沖縄美ら海水族館ほか>	8,400	▲9.3
	(株)よみうりランド <よみうりランド>	16,188	2.1		グリーンランドリゾート(株) <グリーンランド>	4,939	7.3

※1 2016年4月に旧(株)ユニ・エス・ジェイを合併しアジア・テーマパーク・インベストメント(株)から商号変更しており、2015年収入高は旧(株)ユニ・エス・ジェイから引用(主要テーマパーク、ランキング表のみ掲載)

※2 (株)マリニピアは、2015年6月に仙台急行(株)から現商号へ変更

※3 (株)西武ホールディングスが開示した決算短信(連結)の沿線レジャー業の収入高を引用

※4 ツネインシLR(株)は、2015年1月1日にツネインシ境方リゾート(株)を合併し、商号をツネインシヒューマンサービス(株)から現商号へ変更

## 5. 収入高上位 2 社、USJ好調で東西明暗分かれる

### トップは「東京ディズニーランド・シー」を運営する(株)オリエンタルランド

東京ディズニーランドでは「ディズニー・イースター」(4月)、「ディズニー夏祭り」(7月)などスペシャルイベントを開催したほか、新アトラクション「スティッチ・エンカウンター」(7月)をオープン。1人あたりの売上高は上がったものの、猛暑や雨天など不安定な天候が続き、2パーク合計の2015年度の入場者数は3019万人(うち外国人ゲストは6%)と前年から3.8%減少、収入高は約3992億3400万円(前年比0.8%減)となり、2010年以来5年ぶりの減収に転じた。

### 2位は「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」を運営する(株)ユー・エス・ジェイ

2年目を迎えてもなお人気の高いアトラクション「The Wizarding World of Harry Potter」やパーク内にゾンビが出現するシーズナル・イベント「ユニバーサル・サプライズ・ハロウィーン(ハロウィーン・ホラー・ナイト)」(9月)の開催が好調だった。1アトラクションに依存しないパーク運営とリピーターの獲得を進め、2015年度の入場者数は1390万人と過去最高だった2014年度を120万人上回った。また中国などアジアを中心とする外国人ゲスト(約140万人、前年度比80%増)の来場を伸ばし下支えした。2015年の収入高は約1385億7700万円で、前年比44.5%増と大幅に増加した。

### 2015年収入高ランキング

順位 (前年順位)	商号	テーマパーク名	本社 所在地	決算月	2015年 収入高 (百万円)	前年比 増減率 (%)	構成比 (%) ※1	2016年	前年比 増減率 (%)
								収入高 (百万円) ※2	
1 (1)	(株)オリエンタルランド	東京ディズニーリゾート	千葉県	3	399,234	▲0.8	49.1	396,262	▲0.7
2 (2)	(株)ユー・エス・ジェイ ※3	ユニバーサル・スタジオ・ジャパン	大阪府	3	138,577	44.5	-	-	-
3 (3)	(株)東京ドーム	東京ドームシティ	東京都	1	59,061	▲0.3	7.3	59,679	1.0
4 (4)	(株)ナムコ	ナムコ・ナンジャタウン	東京都	3	43,009	▲7.7	5.3	-	-
5 (6)	ハウステンボス(株)	ハウステンボス	長崎県	9	27,594	5.1	3.4	-	-
6 (7)	富士急行(株)	富士急ハイランド	山梨県	3	26,211	2.6	3.2	27,449	4.7
7 (5)	長島観光開発(株)	ナガシマリゾート	三重県	2	25,118	▲5.3	3.1	-	-
8 (8)	(株)モビリティランド	鈴鹿サーキット	三重県	3	25,103	▲0.1	3.1	-	-
9 (9)	西武鉄道(株) ※4	西武園ゆうえんち、としまえん	埼玉県	3	21,533	▲0.6	-	21,724	0.9
10 (10)	(株)よみうりランド	よみうりランド	東京都	3	16,188	2.1	2.0	17,737	9.6
11 (11)	加藤観光(株)	ルスツリゾート	北海道	3	15,642	3.2	1.9	-	-
12 (12)	常磐興産(株) ※5	スパリゾートハワイアンズ	東京都	3	12,453	▲0.1	-	12,722	2.2
13 (13)	(公財)東京動物園協会	恩賜上野動物園ほか	東京都	3	9,055	5.1	1.1	-	-
14 (-)	近鉄レジャーサービス(株)	志摩スペイン村ほか	三重県	3 ※6	9,036	367.2	1.1	-	-
15 (14)	(一財)沖縄美ら島財団	沖縄美ら海水族館ほか	沖縄県	3	8,400	▲9.3	1.0	-	-
16 (15)	(株)横浜八景島	横浜・八景島シーパラダイス	神奈川県	3	7,725	6.7	0.9	-	-
17 (16)	(株)アワーズ	アドベンチャーワールド	大阪府	5	7,243	6.3	0.9	-	-
18 (18)	泉陽興業(株)	よこはまコスモワールドほか	大阪府	4	6,882	6.0	0.8	-	-
19 (19)	(株)サンリオエンターテイメント	サンリオピューロランド	東京都	3	6,300	1.6	0.8	-	-
20 (17)	(株)海遊館	海遊館	大阪府	3	5,850	▲10.4	0.7	-	-

※1 2015年収入高の構成比は全154社の収入高合計に対する比率

※2 2016年収入高は判明分のみ掲載

※3 2016年4月に旧(株)ユー・エス・ジェイを合併しアジア・テーマパーク・インベストメント(株)から商号変更しており、2015年収入高は旧(株)ユー・エス・ジェイから引用(主要テーマパーク、ランキング表のみ掲載)

※4 (株)西武ホールディングスが開示した決算短信(連結)の沿線レジャー業の収入高を引用

※5 常磐興産(株)が開示した決算短信の観光事業部門の収入高を引用

※6 近鉄レジャーサービス(株)は2014年に決算期を変更している

## 6. まとめ

今回の調査では、2015年の収入高合計が前年比0.6%の微増となった。収入高規模別の社数は、「1～10億円未満」と「1億円未満」の合計が全体の64.9%を占め、引き続き少数の大企業と多数の中小規模企業が混在していることがうかがえ、収入高の格差が大きいことが分かる。近年増加した訪日外国人客の大半は東京・大阪・京都など主要都市に集中し、地方に多大な波及効果は見られず、中小規模企業への影響は限定的。

大手2社は、料金改定の実施や積極的な設備投資などを進める。(株)オリエンタルランドは、今年4月に入園料を再度引き上げたほか、6月に4カ所目となる直営ホテルを開業。価格を抑えた提供で既存のホテルとの違いを打ち出して、観光客向けホテルに力を入れた。今年6月に開園した上海ディズニーリゾートの影響が懸念されるものの、今後東南アジアからのゲストを増やしていく意向で、同施設でディズニーへ関心を持った外国人ゲストを取り込むことができるとビジネスチャンスが広がる。(株)ユー・エス・ジェイは、2017年にバック・トゥ・ザ・フューチャー・ザ・ライドの跡地を利用し、新たに人気キャラクター“ミニオン”のアトラクションを開業予定。2019年にはユニバーサル・スタジオ北京が開園を予定しており、その相乗効果が注目される。

収入高上位の企業は、インバウンドを視野に入れた施策を打っている。一方で中小規模の施設は個人の節約志向が高まるなか、訪日外国人客向けの宿泊施設の拡充やWi-Fi・多言語案内表示などの環境整備、多言語対応スタッフの配置に加え、海外の旅行会社との連携体制の構築などによる訪日外国人の取り込みがカギとなるだろう。

(内容に関する問い合わせ先)

(株) 帝国データバンク 東京支社情報部 担当：伊佐 美波

TEL:03-5919-9342 FAX:03-5919-9348

MAIL:minami.isa@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。報道目的以外の利用につきましては、著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。